

【図書フロアからのお知らせ】

Service News サービス・ニュース

貸出期間の延長手続きのご案内

次の予約が入っていない場合に限り、1冊につき1回のみ当初の返却日から1週間貸出期間を延長することができます。貸出日の翌日から返却期限日までに、下記のいずれかの方法でお手続きください。

- ① 千代田区立図書館(室)のカウンター、または、館内検索機
- ② 千代田区立図書館のホームページ
- ③ 千代田区立図書館(室)へ電話

*ホームページと館内検索機からお手続きをされる場合は、事前にパスワードの登録が必要です。

注意 他の自治体の図書館から取り寄せた本、返却期限日を過ぎた資料は貸出期間の延長ができません。

11月のデータベース講座のご案内

日比谷データベース講座VOL.10 「ジャパンナレッジを使って『江戸』を調べる」

- 2階図書フロアカウンター前 11月17日(火)
▶ 14:00~15:00 ▶ 18:30~19:30
- 参加費無料
- 申込不要

*講座概要は各回とも同じです。

川島氏が所属企業のプランニングを新たに依頼された時、チームでとことん話し合い、リサーチしたのは「自分たちは何を生業としているのか」として「企業トップを突き詰めると必ずと見えてくるものがあると言います。私たちが日々働く中の自分の『生業』を改めて考える事は、これらの未来を作る事だと感じました。

30分間設けた質疑応答では、とても有意義な意見交換がなされました。

「企業やブランドとデザインのかかわりはどこに?」
講師: 川島 蓉子
i-f-s 未来研究研究所所長

The Catcher in the Rye
J.D. Salinger
キャッチャーアンザライ
Little, Brown and Company / 1991年
年を取り戻すことが当たり前になると、この世の穢れや偽善に絶望したこの小説の主人公ホールデンのことを思い出すことはできないかもしれない。けれど、忘れてしまった心の輝きを、大人になってまた見つけたいと思うなら、この本を手に取ることで叶うかもしれない。原書は英語ですが口語体のため読み易く、いつでも探しに行けます。

わたくしの一冊
当館スタッフの推薦本を紹介します。
◆おすすめする人
図書フロア 大島 大

『THE CATCHER IN THE RYE』
J.D.SALINGER 著
Little, Brown and Company / 1991年

思春期の心の葛藤を描いた、J.D.サリンジャーのアメリカ文学の名著。村上春樹訳の翻訳版もおすすめです。

ZONE PICK UP! 2F パープルゾーン

【江戸・東京】の本を集めたゾーン

各ゾーン巡回展示 OO論・OO史 ~1/15

「OO論・OO史」の第3弾はパープルゾーンです。このゾーンにある「江戸」「東京」に関する資料から風景史、建築史、事件史などのテーマに分けて展示しています。江戸からつづく文化、あるいは東京になって新たに生まれた文化。時代によって何が変わり、何が変わらなかったのか。首都・東京のさまざまな顔が見える展示を目指します。



△角台展示 平成27年度文化財特別展「馬琴と月岑—千代川の“江戸人”—」関連展示 (~11/23)

▼レポートします!

日比谷データベース講座VOL.9 「Mpacを使ったマーケットシェアや市場規模の調べ方」

- 講師: 植野 由大 (株式会社 富士グローバルネットワーク マーケティングデータサービス部 アシスタントディレクター)

今回は、ビジネスシーン等で活用できるデータベース「Mpac」の使い方講座を開催しました。ビールのシェアや売上の推移など身近な例をあげて機能の説明をされており、参加者の方が聞き入っている様子が印象的でした。20名以上の方にご参加いただき、盛況な講座となりました。

Voice 参加者の声 図書館では「過去の情報」だけがあると思っていたが、「今情報」が入手できると知り、うれしく思いました。

11月の展示情報

各ゾーン巡回展示「OO論・OO史」

日本論、男性・女性論、経済論など社会科学系やビジネス系の本を集めしたオレンジゾーンならではの切り口で、随時テーマを入れ替えながら関連本を紹介します。(~11/13)

グリーンゾーンには、微生物の生態から宇宙を語る本まで多種多様な本があります。その中から幸福論、モノづくり論などテーマにちなんだ本を展示しています。(~2/12) NEW!

ブルーゾーンの特徴でもある芸術、文学、そして映画にジャンルを絞り、気になるワードを取り上げ更新していく展示です。(~12/18)

日比谷カレッジ 開館4周年記念講演会(~11/4)
「歴史の学び方ーなぜ読書をするのか」関連展示

日比谷カレッジ
「ドナルド・キーンと日記～日本兵の日記との出会いから日本文学研究への道のり」関連展示(~12/20) NEW!

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

歴史に学び未来を探る。 開館4周年

4th Anniversary Hibiya Library & Museum



1階壁面に描かれたフレスコ画は、昭和32年の旧都立日比谷図書館建設時に制作され、現在も当館のシンボルとなっています。広報誌「ポモーヌ」の名前は壁画の中央に描かれている「創造の女神」より名付けています。



△フレスコ壁画「文化の壁」Culture Wall

- ①・③「奔馬」斎藤正夫 ②「機械の構成」五味秀夫 ④「創造の女神」ボモーヌが膝に果実をうけて立つ像」藤井令太郎 ⑤「果実をつけた樹木」斎藤久 ⑥・⑧「男女の勤労者」横地康国/武藤久 ⑦「蜜蜂と花」松村視夫

■日比谷図書文化館 開館4周年記念講演会

11/3 (火・祝) 歴史の学び方ーなぜ読書をするのか



歴史を学ぶ人間は、その思考に深みを増し行動に自信を持つことができる。日本の公民として安定した物の考え方を学ぶには、歴史の知識が不可欠となる。グローバル化時代に必要な歴史の学び方について考えてみたい。

- 講師: 山内 昌之
(東京大学名誉教授)

- 日時: 11月3日(火・祝) 14:00~15:30(13:30より受付)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員: 200名 ■ 参加費: 1000円(千代田区民 500円)



11/4 (水) 松尾豊さんと考える 人工知能は敵か?味方か?

人工知能で世界はどう変わるのか。人工知能研究で第一人者の講師が、ディープラーニングを含めた最新動向をお話します。人工知能は人間を超えるのか、脅威か福音か。社会的影響から向き合い方までを考える、未来を読むための2時間です。情報や図書館の未来像にも迫ります。

- 日時: 11月4日(水) 19:00~21:00(18:30より受付)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員: 200名 ■ 参加費: 1000円(千代田区民 500円)



- 講師: 松尾 豊
(東京大学大学院
工学系研究科 准教授)

calendar 開館時間: 平日10時~22時 ■ 土曜10時~19時 ■ 日祝10時~17時 ■ 休館日

2015年 11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

2015年 12月

日	月	火	水	木	金	土
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

お問い合わせ先: 千代田区立日比谷図書文化館
〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL: 施設代表 03-3502-3340
図書総合カウンター 03-3502-3343 URL: http://hibiyal.jp



access

- 都営地下鉄 ●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
- 東京メトロ ●丸ノ内線 ●日比谷線 「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分
- 千代田線 「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分
- JR新橋駅 徒歩10分
- ※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

11・12月の講座

「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。

「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

11/7 演劇への入口講座 第4回 小道具から楽しむ歌舞伎 —こだわりのモノづくりにせまる!

講師:近藤 真理子(藤浪小道具株式会社演劇部演劇課係長)
田村 民子(「伝統芸能の道具ラボ」主宰)

歌舞伎の舞台を支える小道具には、見えないところまでのこだわりが強く見られ、日本人ならではのモノへの思いを特に感じる事が出来ます。そんなこだわりのモノづくりから、歌舞伎の世界への第一歩を踏み出しませんか?実際に使用されている小道具と共に、小道具のあれこれをお話します。

- 日時:11月7日(土)14:00~16:00(13:30より受付)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■参加費:1000円(千代田区民500円)



黒塗り蒔絵入り傾城真益、銀延べ長煙管

11/9 BONSAI —海外の盆栽人気から学ぶ 日本の盆栽美と継承

講師:平尾 成志(盆栽師)

日本の盆栽文化は芸術性の評価も高く、海外では「BONSAI」の言葉が広く使われています。定員に達した為や展示方法など受付を終了しました。違う「BONSAI」の言葉で、盆栽を広め、継承していくのかをお詫びいただきます。

- 日時:11月9日(月)19:00~20:30(18:30より受付)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■参加費:1000円



盆栽を眺く

11/10 今、楽しめる江戸東京野菜の魅力

講師:大竹 道茂(江戸東京・伝統野菜研究会代表)

江戸幕府の開府に合わせて、全国各地から持ち込まれた野菜は、次第に江戸近郊で栽培されるようになり、江戸の食文化を形成するようになります。そんな江戸東京野菜について、長年にわたり伝統的な江戸東京野菜の復活に取り組まれている講師にお話いただきます。

- 日時:11月10日(火)19:00~20:30(18:30より受付)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■参加費:500円



内藤トウガラシ

11/13 のれんの継承～寿司の歴史と技術～

講師:中野里 陽平(株式会社築地玉寿司 代表取締役)

寿司は今や世界中で愛されている日本が誇る食文化ですが、そのルーツは日本ではなく東南アジアだと言われています。地方によって呼び名も形も違いますが、魚をより新鮮でおいしく食べることができるように、長い時間をかけて様々な技術が生み出されてきました。寿司文化を後世に伝えるための技術の継承や、歴史についてお話をいただきます。(主催:NPO法人神田雅学大学)

- 日時:11月13日(金)19:00~20:30(18:30より受付)

- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)

- 定員:60名 ■参加費:無料 ※10月20日(火)千代田区民受付開始。区民以外は10月27日(火)から受付開始。



内藤トウガラシ

▶参加申込:電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、**当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。**

11/18 星をたのしむ・秋～星と芸術

講師:皆川 敏春(星のソムリエ®みたか)
匠 あさみ(星のソムリエ®みたか)

芸術の秋、絵画や音楽の世界にも星の物語がひそんでいることをご存知でしょうか。芸術が星の世界を表現しているのか、それとも星の世界が芸術をみせるのか?グリックやオッフェンバッハのオペラ、ヘニズムの影響を受けた古星図の世界など、様々な芸術作品に見られる星のお話や当日の夜空について、星のソムリエ®が語ります。

- 日時:11月18日(水)19:00~21:00(18:30より受付)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■参加費:1000円



皆川 敏春氏撮影「星を聴く」

11/19 古書で紐解く近現代史セミナー 岩倉使節団は明治日本に何をもたらしたのか(全3回) 第1回 岩倉使節団の使命とその群像

講師:泉 三郎(NPO法人 米欧両国覧の会理事長)

岩倉使節団から何人かの人物を取り上げて彼らの事蹟を紹介し、時代を越えて通用する考え方や学ぶべき点を語っていただきます。第1回目は、岩倉使節団に課せられた使命と参加メンバー、その構成についてお話いただきます。

- 日時:11月19日(木)19:00~20:30(18:30より受付)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■参加費:1000円(千代田区民500円)



岩倉使節団
(東洋文化協会著
『幕末明治文化変遷史』より)

11/25 図書館建築を読む

第4回「図書館と都市」

講師:桂 英史(東京藝術大学大学院教授)

今やどんな地方にも図書館があり、地域の人たちの知的好奇心を引き受けています。「図書館建築を読む」最終回では、地域を象徴する図書館建築が担う公共性を通じて、人の集まる場所としての図書館、そして図書館と都市のあり方についてお話します。(協力:河出書房新社)

- 日時:11月25日(水)19:00~21:00(18:30より受付)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■参加費:1000円



11/26 『平家物語』を、よむ・わかる・かたる(全3回)
第3回 『平家物語』を「語る」という試み
—三遊亭金朝師匠を迎えて—
講師:林望(作家・国文学者) ゲスト:三遊亭金朝(落語家)

『平家物語』が本質的に持っている「語り物」としての性格について林望氏が講述した後、日下注目を集めている若手落語家の三遊亭金朝師匠をお招きして、『謹訳平家物語』のいくつかの名場面を「語り芸」のスタイルで朗読していただきます。話芸のプロである三遊亭金朝氏と共に、その文体や面白さについて語り合います。(主催:上廣倫理財団)

- 日時:11月26日(木)18:30~20:30(18:00より受付)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■参加費:500円(千代田区民及び学生は無料)
※学生の方は当日、学生証をご提示ください。



三遊亭 金朝

12/8 ドナルド・キーンと日記
～日本兵の日記との出会いから日本文学研究への道のり
講師:中津 義人(ドナルド・キーン・センター柏崎 ブランディングアドバイザー)

ドナルド・キーンの日本文学研究者としての原点は太平洋戦争。語学士官として解説した日本兵の日記との出会いが、後に日本文学の系譜は日記文学にあるとの発見につながり、「百代の過客」『日本人の戦争 作家の日記を読む』に結実する。ドナルド・キーンの人となり、仕事について語る。(協力:ドナルド・キーン・センター柏崎)

- 日時:12月8日(火)14:00~16:00(13:30より受付)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■参加費:500円



特別研究室ミニ二通信

特別研究室企画展示

「明治日本のリーダーたちの海外渡航～『米欧回覧実記』をはじめとして～」

特別研究室の蔵書から、江戸時代の終わりの万延元年遣米使節や明治維新後の岩倉使節団をはじめとして、幕末・明治期に海外経験をした日本人達に関する本を展示しています。米国の軍需工場やウィーン万博などで西洋の文明を目の当たりにした彼らが、帰国後どのような事業に取り組んだのかについて紹介しています。

12月28日(月)
まで開催中

海軍工廠に於ける
一行写真
(『万延元年遣米使節
図録』より)



LIBRARY SHOP & CAFE HIBIYA 【ライブラリーショップ&カフェ日比谷】

食欲の秋にあわせて1階ショップ&カフェでは「もの食う文庫」と題し、エッセイを中心とした「食」に関する文庫約100冊をそろえたフェアを開催中です。(販売書籍となります)また、カフェでは秋の味覚をふんだんに使ったスイーツが新登場。読んで、食べて、食欲の秋を楽しめませんか。



◆ポモーヌ広報室より◆ 4th Anniversary

2011年11月4日、日比谷図書文化館は「図書館機能」だけではなく「ミュージアム機能」「アカデミー機能」を兼ね備えた複合文化施設として開館しました。本や資料を提供するだけでなく皆さまの「想像力」や「好奇心」を刺激しその力を引き出すために、様々なお手伝いと支援をする施設。つまり、皆様の「知の拠点」となることを目指しています。これから始まる5年、10年、そして未来へ、これから多くの皆様に愛される「魅力ある施設」を目指し努力してまいります。